

令和6年度

(芸術) 授業計画表

教科名	科目名	単位数	学年・講座	教科書名(発行所)
数学	美術Ⅱ	2	3年1組I型	美術2 (光村図書)
学習のアドバイス	1 作品製作中は自分なりに創意工夫し諦めずに最後まで取り組んでください。 2 道具を使うときは、正しい使い方と安全に気をつけて使用してください。 3 美しいもの・工夫の凝らしたデザインは生活のすぐ傍にあるので、生活を入口に作品制作に向き合ってください。 4 作品鑑賞は、「いいね!」と思う点を見つけ、そこからどうしてそのように感じたのか考えを深めてください。			
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。 		<ul style="list-style-type: none"> 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造的活動の喜びを味わい、多用な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
	上記の観点を踏まえ、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。			
	授 業 内 容		時間数	学 習 の ポ イ ン ト
学 期	(鑑賞/全) オリエンテーション		1	○教科書を参考に、1年間の授業内容や要点を確認する。
	(表現/デザイン) 色を選ぶ <中間考査>		9	○色の特徴や組合せの仕組みから配色を考える。 ○色を元に自己の感情を表現する。
	(表現/デザイン) 情報を視覚化するデザイン		9	○伝えたい情報を整理する。 ○形や色の使い方を工夫してデザインする。 ○一目でわかるデザインを心がける。
(表現/絵画・彫刻) 身近な素材でつくる <期末考査>		7	○身近にあるものを素材に表現を行う。 ○身近な物を観察し組合せ形を生み出す。	

二 学 期	(鑑賞／絵画・彫刻) 作家の生涯と作品	4	○生涯と作品を通して思いや工夫を感じ取る。
	(表現／絵画・彫刻) 見える物の向こうに	9	○周りのものを深く見詰め、感じたことを描く。 ○画材を工夫し、物の質感を丁寧に表す。 ○細部を観察し描く。
	(表現／デザイン) 統一感のあるデザイン	9	○共通の図柄や配色を考える。 ○内容を統一する。 ○イベント内容の特色を考える。
三 学 期	(表現／絵画・彫刻) うつろう自然を画く	9	○変化する自然をとらえる。 ○自然の表情を工夫して描く。
	(鑑賞／映像メディア表現) 写真作品の鑑賞	1	○ふとした瞬間をとらえた写真から感情を想像する。 ○どのように工夫したのか文章表現する。
	(表現／絵画・彫刻) 身近な材料でつくる	1	○表情やしぐさに注目する。 ○カメラアングルを工夫して身近な人の姿を表す。
学 期	(鑑賞／全) まとめ	1	○1年間の振り返りをし、自分の表現に生かす。
	家庭学習	10	
総 時 間 数		70	